3つの実践から見えてきたこと

学校図書館を授業で活用するとは

図書館の3要素を活用すること

教師の考える司書の専門性

資料

を知っている。

子ども

にあった本を手渡してくれる。

教師

に役立つ本を紹介してくれる。

授業の3要素 子ども・教師・教材

斎藤和貴 ©

資料・施設・司書の3要素が関わることが可能

教員が望む司書の資質・能力

① 場の設定

② 資料・情報の提供

③ 児童・生徒理解

④ 教師との連携・協働

⑤ 学びの連続性・発展性

司書の資質・能力を培うには…。

利用者としての児童・生徒・教師

日々のコミュニケーション

司書としての実務経験・研修

子どもの発達に関する
知識・理解

+

教育に関する知識・理解

司書としての知識

学校図書館で行われる多様な「読む」活動は

司書がめざす情報活用能力の育成と重なる。

現在の課題 司書の専門性の共通理解

司書教諭と共に活用の在り方を研究・発信

学校図書館を活かした多様な 授業を全国に発信

先生のための 授業に役立つ 学校図書館活用データベース

学校図書館活用DB | 授業と学校図書館 | 情報リテラシー教育 | 学校図書館の日常 | テーマ別ブックリスト

**学校図書館は
新たな授業づくりを
応援します。**

このサイトは文部科学省のプロジェクトとしてスタートしました。学校図書館を活用した授業実践をデータベース化しています。公開されている指導案、ワークシート、ブックリストを新たな授業にお役立ていただければ幸いです。

**今月の
学校図書館**

東京学芸大学附属世田谷小学校 [もっと詳しく](#)

**先生に
インタビュー**
① 授業と学校図書館

**使いこなす
情報のチカラ**
② 情報リテラシー教育

**本の魅力を伝える
あれこれ**
③ 学校図書館の日常

**使える
ブックリスト** 紹介
④ テーマ別ブックリスト

**授業事例を
大募集!!**

お知らせ

学校図書館の司書の果たすべき役割を可視化！